

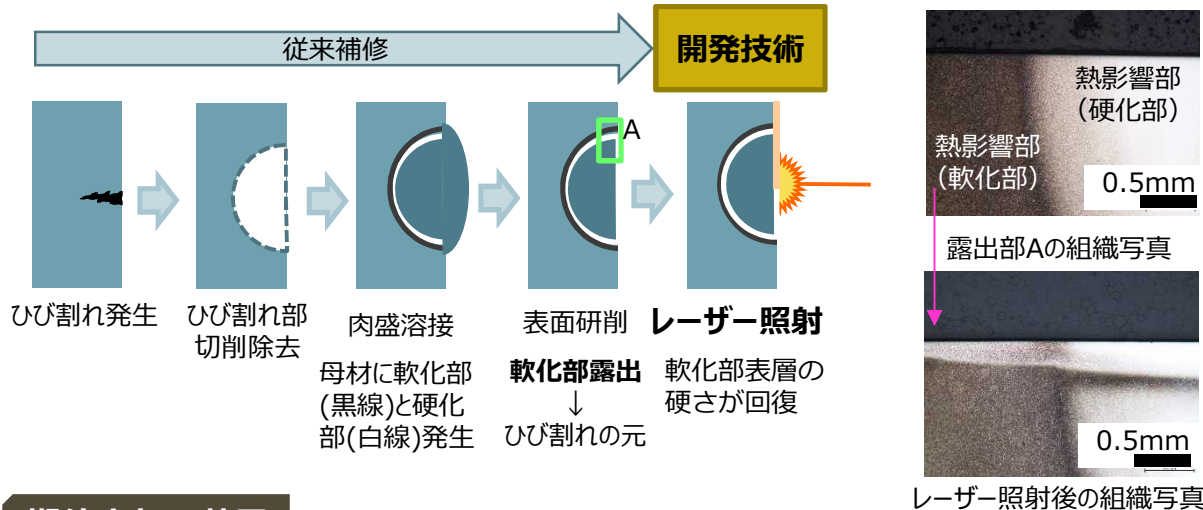
レーザー加工を利用した自動車部品用金型の 長寿命化技術の開発

背景

アルミダイカスト用金型は、ひび割れなどの発生が避けられないため補修を繰り返す必要があり、補修部の耐久性向上が望まれている。

成果

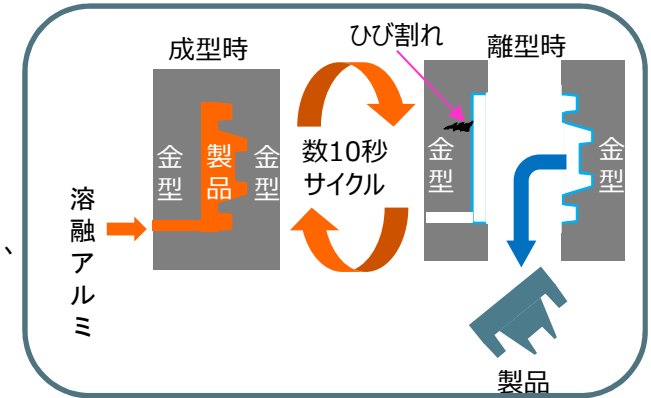
1 レーザーにより溶接補修部の硬さが回復



期待される効果

ダイカストメーカーの金型補修コストを20%以上削減。金型補修業務の道内での受注拡大。

共同研究機関：ホクダイ（株）、北見工業大学、室蘭工業大学、苫小牧市テクノセンター
協力機関：トヨタ自動車北海道(株)、いすゞエンジン製造北海道(株)、（株）松本鐵工所、松江エンジニアリング(株)、（株）産鋼スチール



ダイカスト(金型圧入铸造)概略図

2 補修金型の耐久性向上

